

教科	国語	科目	国語教養	単位数	2	履修年次	1年	2年	3年
						履修形態			選択

教科書	第一学習社「高等学校言語文化」	副教材等	第一学習社「高等学校言語文化 学習課題集」 桐原書店「基礎から学ぶ 解析古典文法 改訂新版」
-----	-----------------	------	---

1 学習の目標

<p>「現代の国語」や「言語文化」で培った基礎力を発展させ、古文、漢文を読むための知識を身につけ、読み解くための力を養うとともに、昔の人々のものの感じ方、見方、考え方を理解する。</p>

2 身に付けてほしい力

<input type="checkbox"/> 学びの価値を重んじる思考力	<input type="checkbox"/> あきらめずに最後までやり通す忍耐力
<input type="checkbox"/> 規律やルールを守り、目標を追求する行動力	<input type="checkbox"/> 多様な価値を認め、他者と助け合う友愛力

3 学習評価(評価規準と評価方法)

評価の観点	知識および技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	古典を鑑賞する能力を養い、我が国の伝統と文化に対する関心を深めようとしている。	古典を通じて伝統と文化の重要性、その意義や価値について理解することにより思考力や想像力を培い、その時代の人間の社会、自然等に対する捉え方や感じ方に共感し現代に生きる自分のものの見方、考え方を見つめ直すことができるようになる。	現代と異なる言葉の独特の響きやリズムを感覚的に受け取りその描写や表現を味わおうとしているとともに、その時代に生きた先人の考え方や感情などを理解しようとしており、古典に興味・関心を持って自ら学ぼうという姿勢がある。
評価の方法	<input type="checkbox"/> 学習活動の状況 <input type="checkbox"/> 考査 <input type="checkbox"/> ワークシート・問題集への取り組み	<input type="checkbox"/> 定期考査、単元テスト <input type="checkbox"/> 学習活動の状況 <input type="checkbox"/> ワークシートへの取り組み	<input type="checkbox"/> 定期考査、単元テスト <input type="checkbox"/> 学習活動の状況 <input type="checkbox"/> ワークシートへの取り組み

4 先生からのアドバイス(予習・復習の方法、授業の受け方など)

<p>○定期考査は授業内容を中心に出題します。集中して取り組みましょう。 ○提出物は必ず期限内に完璧にして出しましょう。評価の対象となります。 ○声を出すことはとても大切です。音読・暗唱することで理解が深まります。意欲的に取り組みましょう。 ○忘れ物や授業中の内職、居眠りなどは大幅なマイナスになるので気をつけましょう。 ○課題の提出状況は成績に大きく関係するので、欠席してしまうと不利になります。体調管理に留意しましょう。 ○考査の点数だけでなく、一生懸命努力する生徒を積極的に評価します。前向きな姿勢を見せて下さい。</p>

年間授業計画

	月	単元	学習内容・目標(到達点)	評価資料・方法	評価の観点		
					①	②	③
前期		随筆	・枕草子 ・徒然草 随筆文学の章段を味わって、作者のものの見方 考え方の特色を理解する。(24時間)	評価問題集	○	○	○
		物語	・伊勢物語 登場人物の言動や心の動きが、どのように描写 されているか、理解する。(17時間)	提出物	○	○	○
				暗唱テスト	○		○
				小テスト	○	○	○
				定期考査	○	○	○
				授業態度			○
後期		故事成語	・狐借虎威 現在、日常的に使われている故事成語の由来を 知るとともに中国人の知恵やものの見方、考え 方を理解する。(12時間)	評価問題集	○	○	○
		史書	・史記 治乱興亡の世に処する人々の姿に触れ、古代の 人々のものの見方、考え方を理解するとともに 中国古代の社会状況や政治、思想を知る。 (17時間)	提出物	○	○	○
				暗唱テスト	○		○
				小テスト	○	○	○
				定期考査	○	○	○
				授業態度			○

* 評価の観点 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に取り組む態度

教科	国語	科目	文学国語	単位数	2	履修年次	1年	2年	3年
						履修形態			必修

教科書	第一学習社 高等学校 標準 文学国語	副教材等	第一学習社「高等学校 文学国語 学習課題集」
-----	-----------------------	------	------------------------

1 学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 身に付けてほしい力

<input type="radio"/> 学びの価値を重んじる思考力	<input type="radio"/> あきらめずに最後までやり通す忍耐力
<input type="radio"/> 規律やルールを守り、目標を追求する行動力	<input type="radio"/> 多様な価値を認め、他者と助け合う友愛力

3 学習評価(評価規準と評価方法)

評価の観点	知識および技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
評価の方法	<input type="radio"/> 定期考査、単元テスト <input type="radio"/> 学習活動の状況 <input type="radio"/> ワークシートへの取り組み	<input type="radio"/> 定期考査、単元テスト <input type="radio"/> 学習活動の状況 <input type="radio"/> ワークシートへの取り組み	<input type="radio"/> 定期考査、単元テスト <input type="radio"/> 学習活動の状況 <input type="radio"/> ワークシートへの取り組み

4 先生からのアドバイス(予習・復習の方法、授業の受け方など)

- 授業では先生が生徒に発問することがあります。積極的な学習態度は「主体的に学習に取り組む態度」ならびに「思考力・判断力・表現力」として評価します。
- 単元の中で書く活動があります。また学習プリントや単元ワークを行うこともあります。いずれも「思考力・判断力・表現力」として評価します。
- 定期考査は授業の内容を中心に出题されます。授業ではただ板書されたことをノートに写すのではなくしっかりと自分で考え理解しましょう。「知識および技能」「思考力・判断力・表現力」として評価します。

年間授業計画

学期	月	学習内容	学習のポイント
前期	4月	古典から受け継がれる話の由来を調べる 「兒子のそら寝」 (『宇治拾遺物語』)	○古典作品の今日への影響について理解する。 ○歴史的仮名遣いに慣れる。 ○古文特有の言い回しについて学ぶ。 ○人物のやりとりを追いながら読解を深める。 ○文節・自立語・付属語用言について学ぶ。
	5月		
	6月	「芥川」 「あづさ弓」	○古語辞典などを使い自分で口語訳ができるようになる。 ○和歌の修辞法について学ぶ。
	7月		
	8月	古典の和歌を現代の言葉に書き換える	○和歌という伝統文化への理解を深める。 ○「リズム」を残したまま和歌に書き換えること の意義や面白さを理解する。
9月	前期期末考査		
後期	10月	「春は、あけぼの」(『枕草子』) 「ある人、弓射ること習ふに」 (『徒然草』)	○語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ○文語のきまりを理解する。 ○作品に表れているものの見方や考え方を捉え、 内容を解釈する方法を学ぶ。
	11月		
	12月	「こころの帆」	○俳句の表現方法を理解し、その俳句の情景や 作者の心情を読みとる。 ○季語・切れ字など、俳句独特の表現方法を理解 する。 ○自分の心情や見た情景を俳句に詠む。
	1月	漢文入門	○中国語と日本語の違いについて学ぶ。 ○訓点を理解し、慣れる。 ○書き下し文が書けるようになる。
	2月	漁夫之利	○訓読、書き下し文に慣れる。 ○句法について学ぶ。 ○故事成語の成り立ちと現在の使われ方について学ぶ。
		後期期末考査	
	3月	古代人と会話ができるか	○今日の日本語がどのような歴史的変遷を経て きたのか、理解する。 ○「言葉」に対する興味・関心をもつ。

教科	国語	科目	論理国語	単位数	2	履修年次	1年	2年	3年
						履修形態			必修

教科書	第一学習社 高等学校 標準 論理国語	副教材等	第一学習社「標準 論理国語 学習課題集」 数研出版「評論速読トレーニング1000」 桐原書店「セレクト漢字検定」
-----	-----------------------	------	--

1 学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 身に付けてほしい力

<input type="checkbox"/> 学びの価値を重んじる思考力	<input type="checkbox"/> あきらめずに最後までやり通す忍耐力
<input type="checkbox"/> 規律やルールを守り、目標を追求する行動力	<input type="checkbox"/> 多様な価値を認め、他者と助け合う友愛力

3 学習評価(評価規準と評価方法)

評価の観点	知識および技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的、創造的に考える力や、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
評価の方法	○定期考査、単元テスト ○学習活動の状況 ○ワークシートへの取り組み	○定期考査、単元テスト ○学習活動の状況 ○ワークシートへの取り組み	○定期考査、単元テスト ○学習活動の状況 ○ワークシートへの取り組み

4 先生からのアドバイス(予習・復習の方法、授業の受け方など)

○定期考査は授業内容を中心に出題します。授業には集中して取り組みましょう。
不明な点や納得のいかないことは積極的に質問しましょう。

○原則的に週の最初の授業で漢字の小テストを行います。

○家庭学習(授業の復習、漢字学習、テスト対策など)を推奨します。

○考査の点数だけでなく、一生懸命努力する生徒を積極的に評価し応援します。

○忘れ物や提出物の遅れ、授業中の内職や居眠りは大幅なマイナスになります。